

飯伊地区 産業経済動向

No.529 2023/4
(5.5.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙	写真：姿を現したりニア中央新幹線天竜川橋梁橋脚	P 1
製造業	景況DIは先月からやや悪化。先行きについても悪化を見込む声が多数	P 2
建設業	公共工事・住宅着工とも前年比減少	P 4
商業・サービス業	景況感やや悪化。脱コロナで動きは活発化。人手不足感強い	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です	三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 豊橋駅～飯田駅(1)	P 6
統計調査から	近時の長野県内の消費者物価指数と賃金関連統計	P 9
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標		P 10

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月からやや悪化。先行きについても悪化を見込む声が増加

当月の製造業の業況判断指数（DI）はマイナス27.3で、前月から11.3ポイント低下。翌月予測はマイナス47.6で、前月から29.4ポイント低下。コロナ正常化を受けて景況感が好転した事業者もあったが、機械製造を中心に受注・販売状況は低調との声が多く、先行きの景況感についても今後さらに厳しくなるとの声も聞かれた。雇用については、一部に余剰との声も聞かれるが、コロナ正常化により売上が回復傾向にある中で、人材を十分に確保できないとの声も複数聞かれた。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれ、前年比では増加の声がやや多い。受注の前月比も業者により分かれるが、減少～横ばいとの声が多かった。
- ☑景況感…… 当月の景況感は概ね横ばいとの声が多く、先行きについては悪化を見込む声が多い。好転との声は当月、先行きともに聞かれなかった。

[企業からのコメント]

- ・ 昨年は景況が少しずつ回復してきていたが、今年に入り下降に転じてきている。
- ・ 「半導体の受注が少なくなる予想」「半導体製造設備ストップ、今後の動きは未定」
- ・ 電子部品を中心に、値上がりが顕著になっている。客先に対し、売価に転嫁できるよう交渉をしている。

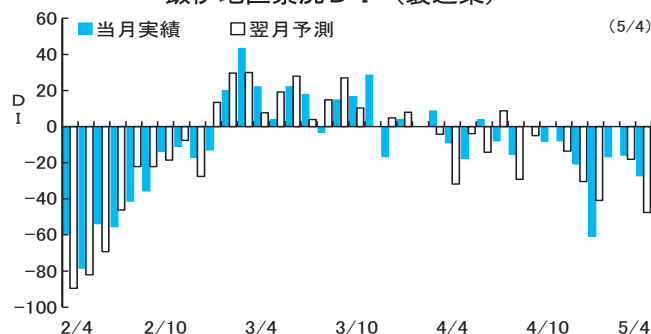
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれる。受注は前月比減少～横ばい、前年比では減少との声。
- ☑景況感…… 当月の景況感は業者により見方が分かれる。先行きについては、悪化～横ばいとの声。

[企業からのコメント]

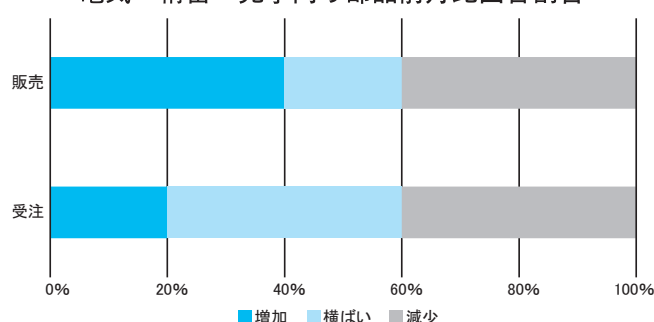
- ・ 毎年5月はゴールデンウィークの関係で稼働日が少ないため売上が落ち込む傾向にあるが、それを踏まえても大きな減少となっている。既存顧客および新規顧客の受注の取り込みを図る。
- ・ 半導体関連は、受注残、売上高ともに減少。
- ・ 半導体分野は、メインの顧客が引き続き不調であるが、夏以降の回復を示唆している。また、比較的好調であった顧客もトーンダウンしており、先方の客との在庫調整のため、受注が2か月先送りされた。一方、半導体分野以外の新規客から受注があり、産業ロボット分野や防衛関係分野は好調との情報を入手した。作れるものがマッチしたので、別分野で回復を試みる。
- ・ 材料によって価格の下落も見られるが、大きなインパクトはない。材料価格は今後緩やかに下降すると思われるが、高止まりしている材料も見受けられる。
- ・ 半導体業界は厳しい状況が続くが、地元企業でも景気の良い会社がある。設備の増強ができたため、そちらの方にも注力したい。可能であれば、地場の顧客を増やしていきたい。

飯伊地区景況DI（製造業）

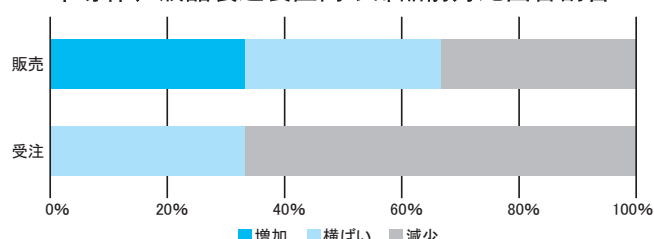


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
景況に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
「先月と比べて景況が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景況が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合

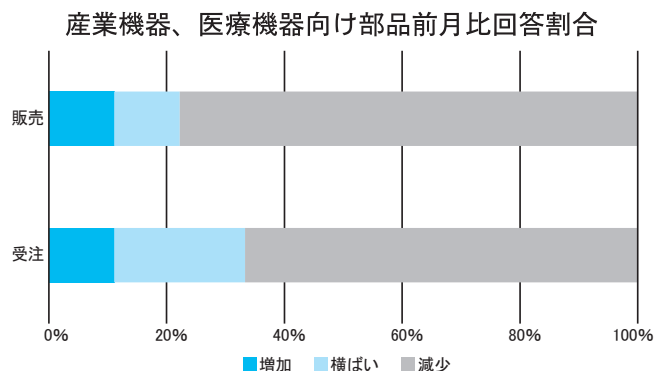


半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☒受注、販売… 販売、受注ともに、前月比は減少との声が多い。先行きに関しても減少を見込むとの声が多い。
- ☒景 況 感…… 景況感が悪化したとの声は半数超の事業者から聞かれた。先行きについては横ばいとの声もあるが、悪化を見込む声の方が多い。



[企業からのコメント]

- ・「取引先全業種において、ここからまだ下がる傾向」「日々の注文書が伸びない」「得意先の減産に伴い、売上が大幅に減少」「明るい話は少なく、ボリュームも少ない」
- ・「この先の鉄材の値上がりが心配」「電気料金が大幅にアップ」
- ・「電気料・光熱費等の経費増により製品単価を修正した」「材料の値上がり分は製品単価に反映させているが、以前の単価で伝票を出すケースもある」
- ・中国調達品の国内切り替え準備が具体的に始まっている。転注による経費の増加は織り込み済みで、中国製輸入単価のほぼ2倍目安での指示がある。
- ・車関係の仕事は動きが悪いとの話が聞かれた。材料屋でも稼働が少ないとの声。
- ・世界平和を柱に、地球温暖化防止に向けて行動を推し進める必要がある。

●漬物、半生菓子、菓子原料等

- ☒売 上… 漬物は前月比やや増加、前年比ではやや減少。菓子は前月比横ばい。景況感については、大きな変化はないとの声が多い。

[企業からのコメント]

- ・徐々に価格の改定も浸透しているように感じるが、その分、財布のひもは固くなっているように感じる。桜や花桃の開花が早かった分、4月は例年より観光需要が早く上昇したように感じる。
- ・原材料の価格上昇は続いている。天候も例年とは違い、原料野菜の生育にばらつきが出ている。

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☒売 上 … 前月比はやや減少、次月以降でも減少を見込むとの声。

[企業からのコメント]

- ・コロナ禍の前の売上に戻るのには、儀式産業としては先行きが暗い。まだまだ続く材料の値上げのため、見積もり改定の通知で繁忙の状況。

●上記以外の製造業

- ☒建築用金属製品 … 販売は、前月比横ばい、前年比では増加。受注残高は前月比横ばいという。
- ☒自動車向け部品 … 販売は、前月比横ばい、前年比ではやや増加。景況感は横ばいとの声。
- ☒印 刷 …………… 販売は、前月比ではやや減少、前年比ではやや増加。景況感は横ばいという。
- ☒服 飾 …………… 販売は前月比、前年比とも増加。景況感も好転との声。

[企業からのコメント]

- ・来年、再来年と、徐々に首都圏を中心とした物件が増える見込み。
- ・統一地方選挙関連の仕事もあり、売上が対前年をオーバーすることができた。各種イベントの復活による仕事の話も出始めており、ありがたい傾向と思われる。
- ・都内を中心に発注が増している。インバウンドも、中国人が未だ入ってこないにも関わらず盛況。業界としては人手不足で生産量が確保できず、やむなく断っている工場が多い。また後継者不足から倒産してしまう工場も多い。
- ・「人手不足解消のため、外国人技能実習生の採用を検討」「印刷業界に対しての応募者が少なく、確保が難しくなっている」「実習生の質も落ちてきており、今後実習生を雇うかどうか決めかねている。今までの派遣国以外の国も模索している」

建設業

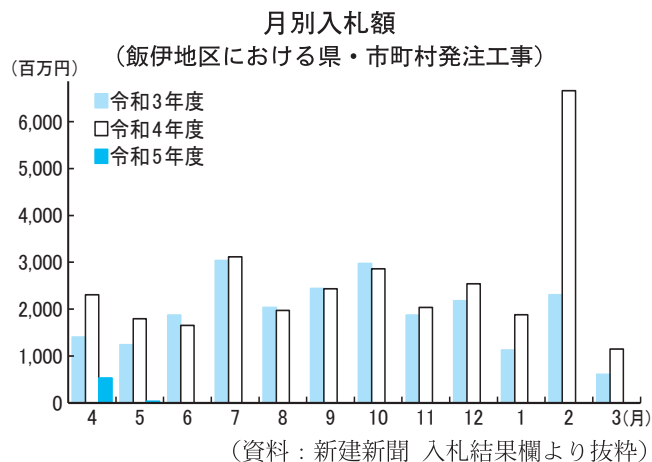
官公需

概況 4月の公共工事入札金額は前年比で76.8%減少、一昨年比では62.0%の減少

☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約5.3億円（5月15日調査時点）。前年に比べ76.8%減少、2年前との比較でも62.0%減少。

☑受注残高…………… 前月比、前年比とも業者により増減分かれる。景況感は、概ね横ばいとの声が多いが、一部に、やや悪化したとの声も。

☑原材料価格…………… 前月比では横ばい～やや上昇、先行きについては上昇を見込むとの声が多い。



[企業からのコメント]

- ・土木は災害工事が終わり、発注件数が少ないため競争が激しい。
- ・三遠南信工事や、他の国の工事でもトンネルや橋梁の大型工事の発注になってきたので、地元業者のできる工事の件数が少ない。国の工事が受注できないと、県や市町村工事に目が向くので、さらに競争が激しくなる。
- ・会社の規模に見合った工事量は確保できている。社員の高齢化が進んでおり、若返りに向けて検討中。
- ・各種資材の価格値上げは鈍化したとはいえ、値上がりの傾向は続いている。

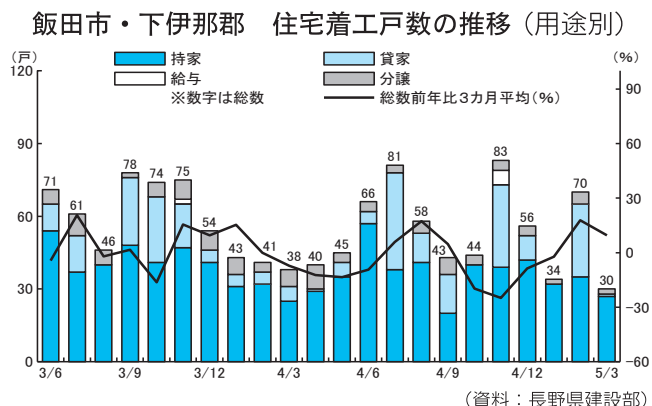
民需

概況 令和5年3月の住宅着工戸数は30戸で前年比21%減。

持家は概ね横ばいも、貸家が減少し前年比マイナス

☑住宅着工戸数… 当地区の3月の住宅着工戸数は30戸。前月比57%減、前年比でも21%減。持家の戸数は27件と、前年（25件）とほぼ変わらずも、貸家が1件で、前年（6件）から減少し、2か月ぶりに前年比マイナスとなった。

☑原材料価格…………… 前月比では概ね横ばいとの回答が増えており、木材は下がってきたとの声もあるが、今後の値上がりを見込む声も。



[企業からのコメント]

- ・リニアの移転がある割には、建築工事は少ない。住宅も安目のメーカーが多くなってきている。
- ・住宅においては、少子高齢化に伴う市場の縮小等により受注競争が過熱している。また、大型物件が公共、民間ともに少ないため、こちらも競争が激しい。
- ・「木材の価格は少し下がってきた」「現状は落ち着いているが、今後の値上がりは心配」

建設資材等

概況 4月の生コン売上は前月比、前年比とも減少。骨材売上も前年比減少。

☑生コン … 売上は前月比では減少～やや減少、前年比でも同様。

☑骨 材 … 売上は前月比減少～横ばい、前年比では減少～やや減少との声。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、工場・店舗建設、護岸・砂防工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の約10%。
- ・「4月は年度初めのため、昨年度からの継続工事だけであまり動きがなかった」「今月は売上が少なかった」
- ・生コン価格の値上がりについて、他業種でも値上がりしているので理解はしてくれているようだ。設備修繕のための部品の納期の大幅遅れが依然として解消しない。
- ・リニア関連工事で大鹿地区は非常に忙しい。その他の地区の生コンの動きはなかなか活発になってこない。

商業・サービス業

概況 景況感はやや悪化。脱コロナが進み、人の動きは活発に。人手不足感は変わらず強い

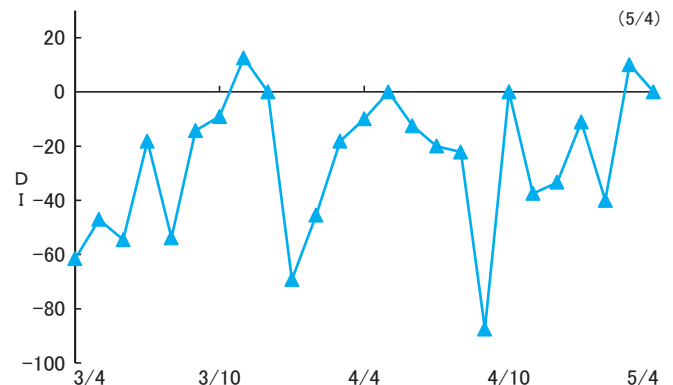
当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）は、0.0で、前月から10.0ポイント低下。

連休明けのコロナ5類への変更が近づき、天候にも恵まれたことで、飲食業や宿泊業を中心に前年比で売上増加の声が多く聞かれた。花の開花が早まったことで、一部の宿泊業では4月下旬にキャンセルが発生したとの声もあった。

各種値上げは多くの事業者に影響しており、価格転嫁の難しさ、利益確保の厳しさを指摘する声は多い。

人手不足感は変わらず強く、飲食業の一部には、コロナ前と同じような受け入れは厳しいとの声も。宿泊業からも、仲居の絶対数が不足しているとの声が聞かれた。

商業・サービスDI



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比はやや増加～増加。前年比では業者により増減分かれる

☑売上 … 前月比ではやや増加～増加。景況感はやや悪化～横ばい。

〔企業からのコメント〕

- ・メーカー値上げは引き続きある。売価への転嫁が遅れ気味になっている。
- ・商品が注文のたびに値上がりし、小売価格が上昇。メーカーの在庫不足が増加し、仕入に影響が出ている。

●卸売業 概況 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる

☑売上 … 青果卸の売上は前月比でやや増加、食品や電設資材ではやや減少との声。

〔企業からのコメント〕

- ・野菜は、九州・四国の長雨で新馬鈴薯やカボチャ等、高値の物もあったが、全般的には天候に恵まれた。野菜全体では入荷量やや減、価格やや安。陽気が進み、山菜類は大幅な前進出荷となった。果実は、円安の影響で輸入柑橘やバナナは入荷量減で価格高。一方、国産柑橘は晩柑類を中心に入荷量も多く順調。終盤を迎えた苺も前年並みの販売となり、果実全体では入荷量やや減、価格やや高となった。
- ・端境期ということもあり、家電製品等の伸びは低迷している。民間企業の設備投資も一段落したように感じる。
- ・仕入面で依然値上げの傾向が強く、客先への複数回の価格交渉は非常に厳しい内容である。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 飲食業、宿泊業で前年比で売上増加の声が多い。ただ、コロナ前の売上には戻っていないとの声も

☑売上 … 飲食業・宿泊業で前年比増加との声が多い。それに合わせて、景況感も好転してきたとの声が多く聞かれた。

〔企業からのコメント〕

- ・桜の開花が早まったこともあり、3月下旬頃から人の出が多くなった。ゴールデンウィーク以降の予約も増えてきているが、人手不足もあってコロナ以前のような受け入れは厳しい。ゴールデンウィーク以降のコロナ5類への変更により、状況がどのくらい変わるかに期待している。
- ・売上は少しずつコロナ前に近づいているが、仕入単価や光熱費の高騰により収益の改善はあまり進まない。
- ・コロナが収まってきて、4月後半は宴会予約も多かったが、景気はまだまだ良くなっていないと感じる。
- ・「4月初旬は、年度初めということもあり主要のビジネス需要は少なかったが、その後は順調に稼働した。天候も早く暖かくなったので、観光需要も良かった」「4月は、一時的な日帰りツアーが入り、売上増となった。また、全国旅行支援の恩恵を受けたことも要因」「早く暖かくなりすぎたため、4月下旬の花桃目当ての旅行客のキャンセルが何件もあった。昼神温泉の他の宿泊施設でも、同様の影響は考えられる」
- ・人の移動が開始したこと、季節が春ということもあって、どの店も回復してきているが、どの店も人手不足になっている様子である。市内の宴会場が2～3店閉鎖となったうえに、繁忙日は限られるため予約が特定の日に集中してしまい、断ることもかなりある。
- ・去年は飲食店の時短要請が解除されたため、タクシーは夜の需要が増加した。今年は、行動制限がない中でも前年比で売上が減少しており、一般の利用状況はまだ厳しい状況である。

三遠南信地域交流たずねある記（10）

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅（6）

豊橋駅から飯田駅へ（1）

いにしえ
～古の人流・物流の舞台となった街道を行く～

三遠南信地域路線バス乗り継ぎの旅は、三遠南信トライアングルの最終行程、豊橋駅から飯田駅へと向かうコースとなる。

■長野県境へのバス乗り継ぎを確認

豊橋駅から飯田駅へ、国道151号を北上して長野県境へと向かいたい。阿南町新野にたどり着ければ、そこから飯田駅へ行くバスがあることが判っている。調べると豊橋駅から新城までは豊鉄バス1本で行けることが判った。ただ、その先は国道151号を行くバス路線がない。輸送需要の少ないところはJR飯田線で、ということか。

さらに調べると、飯田線が国道151号と別れ静岡県佐久間方面へ逸れて行く東栄町からは、再び国道151号を新野境までバス路線があることが判る。また東栄町へは、豊鉄バスが新城から設楽町の田口へ行っており、田口から東栄町へはコミュニティバスで行けることも判った（次頁概略図）。大回りするが飯田駅まで路線バスで繋ぐことができそうだ。



設楽町田口中心部



豊鉄バス新城線
豊橋駅～新城市民病院 600円

■まずは豊川市内へ向かう

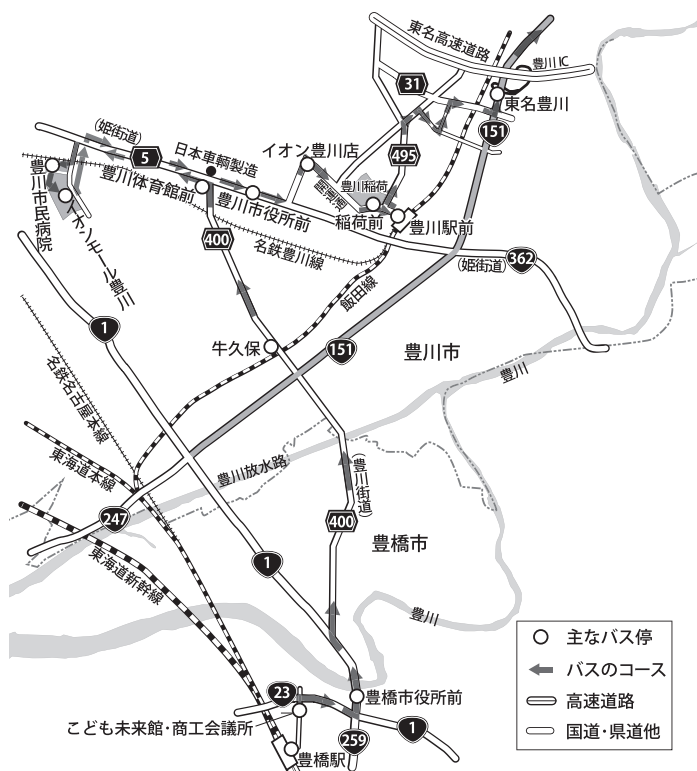
豊橋駅発は8時20分。通勤・通学者で賑わう路面電車やバスの発着所から豊鉄バス新城線新城富永行きバスに乗車。バスには通勤客らしい人が10数人、学生はいない。

豊橋駅を出発するとこども未来館・商工会議所などを経て広い通りに出るとそれは国道1号線（東海道）で、豊橋市役所前を過ぎると豊川を従えた吉田城の櫓が聳えるいつもの光景となる。

豊川を吉田大橋で渡り、豊橋市中心部から東名豊川インターや飯田方面に向かう際に通る県道400号（豊川街道）を進む。国道151号との交差点（城下）は右折せず直進する。間もなく、飯田線の踏切を渡って牛久保駅前を過ぎ、その先名鉄豊川線の踏切を渡ると豊川体育館前で県道5号との丁字交差点になる。

正面は日本車両製造豊川製作所正門。ここはかつて豊川海軍工廠があったところ。当地域から勤労動員で来ていて1945年8月の豊川空襲に遭遇されたことはいまだに記憶に残る。そこに今JR東海の連結子会社である日本車両製造がある。新幹線0系を始め、リニア新幹線の車両も手掛けていているという。

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 概略図
豊橋駅～豊川（東名豊川）



県道5号は旧姫街道。姫街道は江戸時代御油宿（豊川）で東海道から分岐、現在の県道5号その先362号を辿って本坂峠で遠州に入り、三ヶ日を経て気賀から現在の静岡県道261号に沿って浜松、最後は見付宿（磐田）で東海道と再び合流する歴史の道であった。

この間、豊橋駅で乗車した客はそれぞれの停留所で降車していて、乗車が殆どないため車内は段々と寂しくなってくる。県道5号から左折して豊川市民病院に着いた。8時台の病院は閑散としている。停留所ベンチに3名ほど居たが、1名乗車したのみ。病院通いの人などで込み合う想定だったのだが。この後隣接するイオンモール豊川に立ち寄ったがここも乗降客はゼロだった。

再び県道5号へ戻り逆方向へ進む。豊川市役所前で周りをみると、市役所の他陸上競技場がある豊川公園、図書館や法務局などあり、豊川市の中心部であることが判った。豊川市役所前を過ぎるとバスは左折、角を曲がったところがイオン豊川店で、先程のイオンモールの他にもう一つイオン店がある。ここも乗降客はゼロだった。イオン前の通りは開運通というそうで、そのまま進むと見覚えのある風景に、豊川稲荷の塀に沿って走っていることに気付く。間もなく豊川駅に到着。

駅のロータリーで旋回して再び豊川稲荷方面へ、豊川稲荷の交差点（豊川稲荷前）で右折して県道495号へと進む。豊川稲荷参道にもこの時間帯賑わいはない。



J R飯田線豊川駅（左）と名鉄豊川線豊川稲荷駅（中央奥）



新城市市民病院と豊鉄バス田口新城線
新城市市民病院～田口 1,200円

■新城を目指し豊川市郊外に行く

バスは豊川市内の住宅地を右へ左へと転じながら漸く国道151号へ出た。東名豊川で1名乗車。三河一宮の社格を誇る砥鹿神社前では1名乗車した。バスはこの後飯田線と並行して進んでいくが、面白いのは停留所名が永山、江島、東上と飯田線の駅に対応した停留所設置になっていること。

東上の次川田を過ぎたところから、国道151号は新城バイパスの方になるため、バスは旧道に入っていく。新城の街中を進み新城市市民病院に到着。終点新城富永まで行くと次のバスに接続ができないため、ここで田口新城線のバスを待つことになる。

■田口（設楽町）行きのバスに乗車

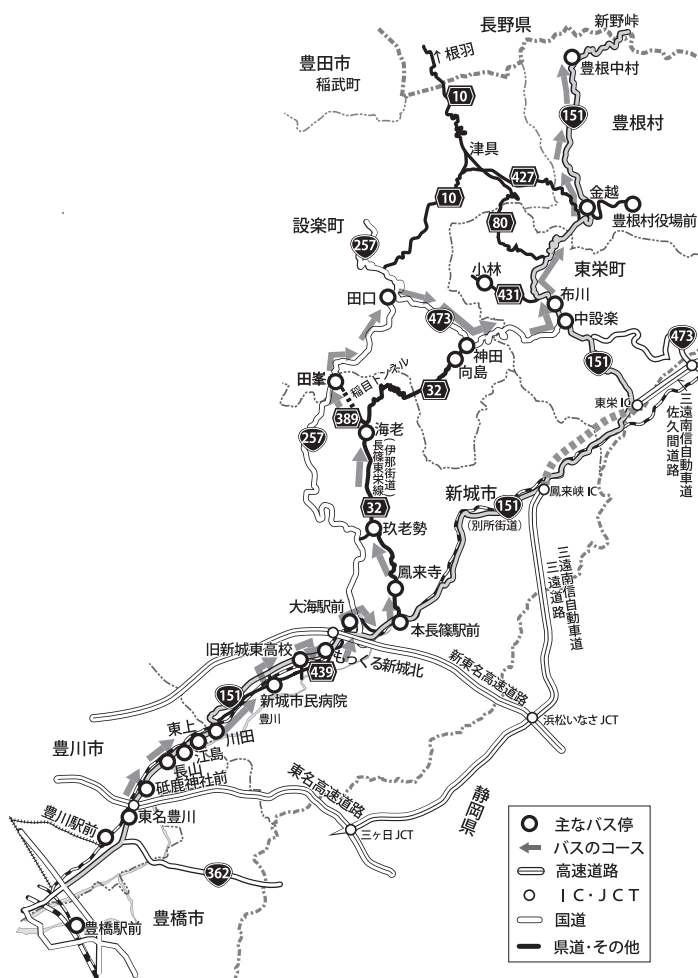
地方では病院が路線バスのハブ機能を担っていると言われており、新城市市民病院構内にバスターミナルがあると思っていたが、病院前の道端にある普通のバス停だった。乗客は新城市市民病院の手前千郷小学校前で最後の1名が下車し、ここから先に向かうのは私一人となった。

定刻に田口行きバスに乗車。出発して次の角で左折して新城バイパスに出るが、旧新城高校前でまた旧道（県道439号）に戻る。

川路夜燈を過ぎると国道151号に合流、新城の道の駅もつくる新城北を通過し新東名の高架を潜った後ふたたび旧道に入り飯田線大海駅前、長篠城前などを経て本長篠駅前へ到着した。

ここで時間調整のための停車があり、11時丁度の発車となる。

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 概略図
豊橋駅～長野県境（豊根中村）



■バスは県道32号（伊那街道）へ

本長篠駅前では、出張サラリーマン風の2人が乗り込み、途中まで3人での道中となる。バスは県道32号長篠東栄線を設楽町田口に向け進むのであるが、この道路沿いで注目されているのは、かつて本長篠駅から田口（三河田口）まで私鉄（田口鉄道）田口線がほぼこの県道に沿って運行していたこと。所々残る田口線の遺構を訪ねる廃鉄マニアが一定数あるという。

田口鉄道は国有化された飯田線の旧会社の一つ鳳来寺鉄道の系列会社（「飯田線展」桜ヶ丘ミュージアム刊）で、同線は飯田線4鉄道のように国有化とはならず、その後豊橋鉄道に吸収されて営業を続け、利用者減少等を理由に昭和43（1968）年廃止となった（奥三河観光ナビHP）。

バスは鳳来寺参拝の拠点である鳳来寺や玖老勢、海老を経て県道389号線を進み、稲目トンネルを抜けると田峯^{たみね}に至る。停留所は田峯城址の足元にある。戦国時代この一帯は山家三方衆^{やまがさんぼうしゅう}のうちの菅沼氏の支配にあったが、南信州地域と同様、甲州武田軍の侵攻に苦しみ様々対応を強いられた歴史を持つ。

そこから一つ峠を越え終点の設楽町田口にほぼ定刻（11時39分）に到着した。

■往時の街道の重要拠点田口

設楽町田口は現在、国道151号と153号どちらにも接していないため、当地域の皆様に馴染みがないかも知れないが、古くは関わり深いところであった。

一つは根羽から上津具、海老、大海等を経て新城、更に吉田（豊橋）へと繋がる伊那街道（信州側では「三州街道」）による人の移動・交流。天正元（1573）年の武田信玄の三方ヶ原の戦いの後、野田城での発病と撤退から根羽もしくは駒場で死去の際、この街道（もしくは伊那街道古道）を通過したと思われる。この地域では、信玄は田口の福田寺で死去と伝えられている（設楽町誌）。

もう一つは、天正3（1575）年の長篠合戦（設楽原合戦）に敗れた武田勝頼がこの街道を撤退したというもの。この際は田峯城の菅沼定忠が駒場まで案内したという（同）。この街道を舞台に南信州・東三河の歴史が展開した。

江戸時代には、この街道を通じた物流が盛んになる。特に信州方面で始まった中馬（①宿場問屋を介さない直接契約での馬背配送業 ②宿場伝馬せず付け通し ③免許制、の運送＝新井利彦氏の整理による）が次第に物流を席卷し、三州街道（伊那街道、飯田街道）は中馬街道とも称されるようになる。

これにより伝馬制をとる宿場問屋の営業が圧迫されたほか、追従して広まった三河の農民らによる「三州馬稼ぎ」とも競争が激化する（「中馬紛争」）。これら三河側から度々江戸表に対し裁定を求める訴えが起こされた（同）。

他方で、三河方面からの茶、塩、綿など様々な物資が伊那街道（三州街道）を通じて当地域にもたらされ、また当地域がこれら物流の結節点として繁栄した歴史が、この辺りの街道に遺されていると言えるのではないかな。

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）

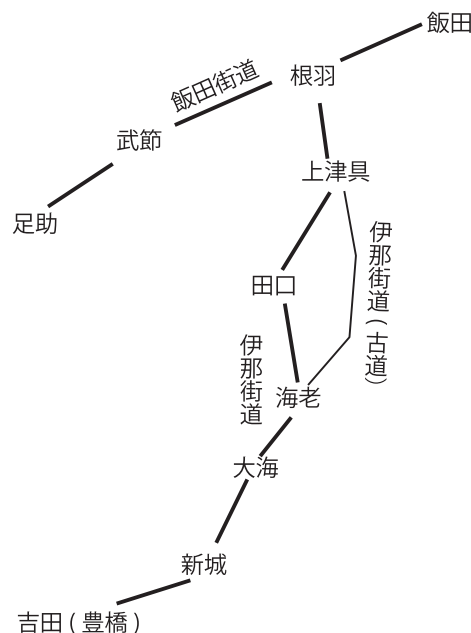


県道32号沿い風景



田口の国道257号沿い風景

中馬街道（三州街道）の概要



「設楽町誌」の解説図を省略（通史編313頁）



中馬絵馬（育良神社蔵・飯田市美術博物館寄託）

近時の長野県内の消費者物価指数と賃金関連統計

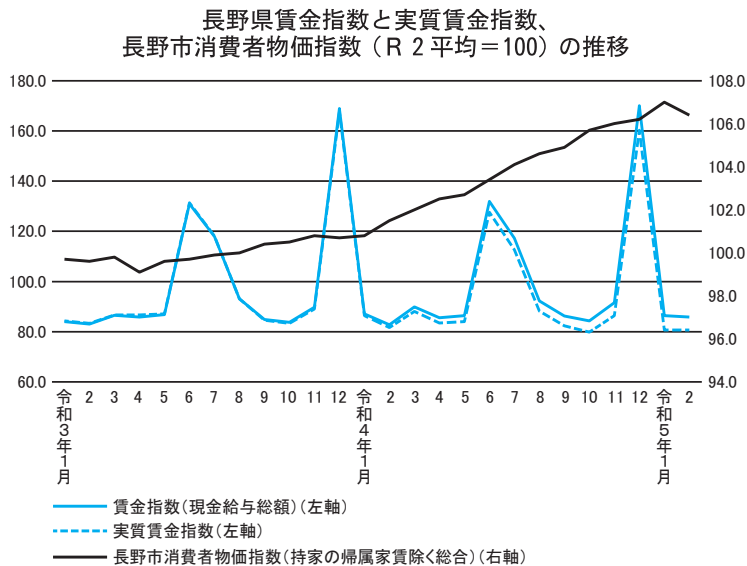
1. 長野市消費者物価指数（持家の帰属家賃除く総合）と、長野県賃金指数、実質賃金指数の推移

近時、物価の上昇が伝えられる。

そこで、長野市の消費者物価指数（持家の帰属家賃除く総合、R2平均＝100）（※1）の推移を見ると、長野市でも令和4年2月頃から消費者物価指数の急激な上昇がみられる。

一方、令和3年1月からの長野県賃金指数（現金給与総額、従業員規模5人以上、調査産業計 R2平均＝100）の推移を見ると、令和3、4年中はほぼ横ばいで、大きな動きは見られなかった。

長野県実質賃金指数は、長野県賃金指数を長野市の消費者物価指数で除して求めるが、令和4年2月以降、実質賃金指数が賃金指数を下回っている。物価の上昇に、賃金の上昇が追いついていないのではないかとと思われる。



※1 家計調査において、「持家の帰属家賃」とは、実際には家賃の支払いを伴わない自己所有住宅（持ち家住宅）についても、通常の借家や借間と同様のサービスが生産され、消費されるものと仮定して、それを一般市場価格で評価した概念的なもの。世帯の実際の支出を調査する家計調査には「持家の帰属家賃」に該当する項目がないため、実収入や消費支出の対前年増減率の実質化には「持家の帰属家賃を除く総合」を用いる。

2. 長野県「令和5年春季賃上げ要求・妥結状況調査結果」（速報）

そこで賃金の上昇が期待されるところだが、長野県は、県内民間企業労働組合を対象に春季賃上げ要求・妥結状況を調査しており、令和5年4月23日現在の第一報が公表されている。

これによると、300人未満の企業の1組合当たり平均の賃上げ額は6,546円となっており、過去12年間で賃上げ額が最も多くなっている。これを賃上げ率で見ても、300人未満の企業の1組合当たり平均の賃上げ率は2.74%上昇しており、過去12年間で賃上げ率が最も大きくなっている。

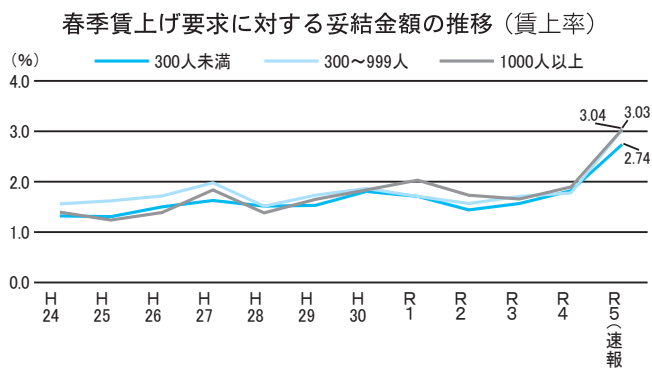
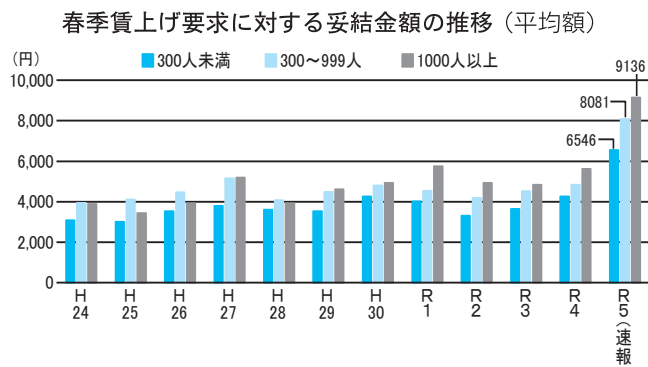
なお、連合による、全国の300人未満の企業の1組合当たり平均の賃上げ額は7,515円、賃上げ率は3.19%（5月10日現在）となっている。

※賃上げ平均額、賃上げ率ともに、定期昇給、ベースアップ分を含む。

※賃上げ率＝各階級の平均妥結金額÷昨年の各階級の平均賃金。

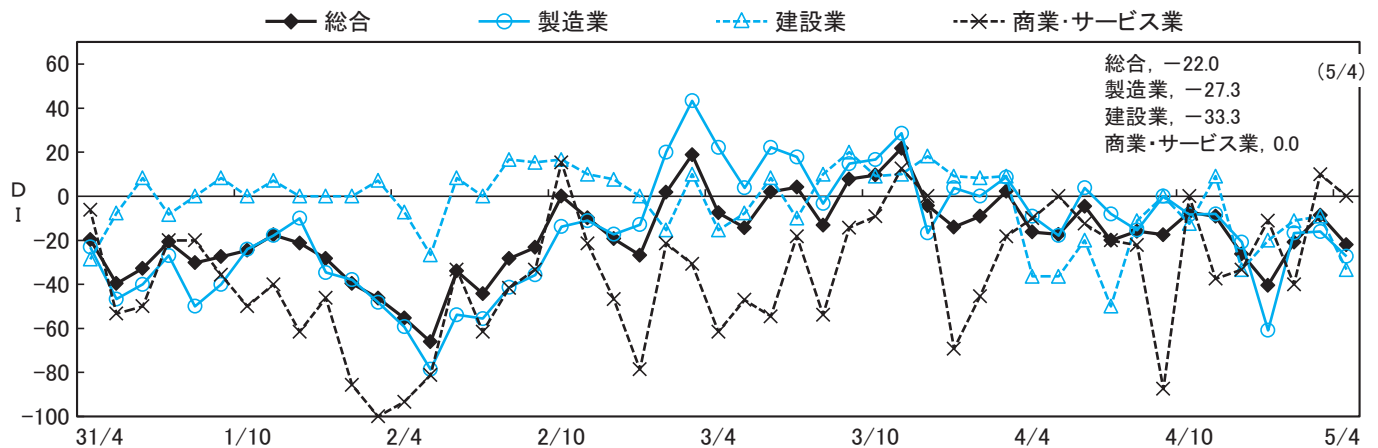
※長野県の令和5年春季賃上げ要求・妥結状況調査は、県内の民間労働組合から抽出した420組合を対象にしており、第一報は77組合による回答の集計。

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 中村 達）



飯伊地区全産業景況 D I の推移

飯伊地区景況 D I (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前 年 同 月 比	前 々 年 同 月 比	令和元年同月比
倒 産 件 数 (負債総額1千万円以上)	県 内	4 件	(前月 8 件)	(前年同月 10 件)	(前々年同月 3 件)	(令和元年同月 7 件)
	飯 伊	0 件	(前月 1 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 0 件)	(令和元年同月 1 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数) (3月)		30 戸	△ 57.1 %	△ 21.1 %	△ 36.2 %	△ 36.2 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (3月)		1.63 倍	(前月 1.64 倍)	(前年同月 1.38 倍)	(前々年同月 1.23 倍)	(令和元年同月 1.31 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	1,941 台	△ 48.4 %	18.2 %	2.6 %	△ 15.3 %
	中古車	730 台	△ 16.6 %	△ 2.7 %	△ 12.5 %	△ 17.1 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (3月)	新 車	5,453 台	27.8 %	13.3 %	△ 13.6 %	△ 12.3 %
	中古車	1,124 台	29.8 %	△ 2.5 %	△ 10.0 %	△ 0.3 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	94,154 台	△ 6.5 %	7.2 %	13.0 %	△ 16.2 %
	出	94,553 台	△ 7.4 %	6.9 %	15.1 %	△ 17.1 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	56,943 台	△ 5.8 %	7.3 %	13.8 %	△ 24.0 %
	出	52,294 台	△ 5.9 %	2.1 %	9.2 %	△ 27.2 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	24,234 台	84.1 %	29.5 %	30.5 %	15.2 %
	出	30,567 台	144.7 %	34.5 %	38.2 %	26.2 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	49,277 台	11.6 %	10.6 %	29.4 %	11.3 %
	出	51,616 台	12.9 %	11.0 %	29.4 %	14.9 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	37,351 台	△ 5.2 %	13.3 %	— %	— %
	出	35,702 台	△ 5.9 %	10.9 %	— %	— %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		125 件	△ 27.3 %	42.0 %	92.3 %	△ 3.1 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		4 件	(前月 5 件)	(前年同月 2 件)	(前々年同月 0 件)	(令和元年同月 1 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	17,876 人	△ 19.1 %	65.1 %	213.9 %	△ 32.5 %
	飯田～名古屋	13,060 人	△ 12.5 %	43.4 %	132.9 %	△ 30.0 %
	飯田～長野	4,146 人	6.0 %	22.8 %	27.0 %	△ 55.7 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	14,374 人	△ 18.3 %	69.4 %	333.9 %	△ 34.0 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,539 人	△ 13.8 %	△ 1.0 %	△ 4.5 %	△ 23.5 %
	右回り	2,656 人	△ 6.7 %	5.2 %	△ 0.3 %	△ 20.6 %